

第 16 回日本血栓止血学会学術標準化委員会 (SSC) シンポジウム

Scientific Standardization Committee Symposium 2022

日程：2022 年 2 月 19 日 (土) LIVE 配信

2022 年 2 月 25 日 (金) ～ 3 月 31 日 (木) オンデマンド配信

教育講演：オンデマンド配信のみ <配信期間：2022 年 2 月 19 日 (土) 13:10 ～ 3 月 31 日 (木) 正午>

- | | |
|-------------------------------------|---------|
| 1. 止血・血栓をとりまく疾患の鑑別のために知っておくべき血液凝固検査 | 池添 隆之先生 |
| 2. COVID-19 と血栓・血小板 | 横山 健次先生 |
| 3. 小児の凝固異常症診療における最近の進歩 | 野上 恵嗣先生 |
| 4. 先天性血栓性素因と後天的血栓傾向 | 山本 晃士先生 |
| 5. DIC/TMA 関連分子の遺伝子解析・検査 | 小亀 浩市先生 |
-

学術標準化委員会シンポジウム：L I V E 配信、オンデマンド配信

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 各領域の DIC で分かっていること・未だ分かっていること | DIC 部会 |
| 2. 自己免疫性凝固因子欠乏症、凝固波形と抗凝固関連療法の新展開 | 凝固系／抗凝固療法部会 |
| 3. 静脈血栓塞栓症の治療と予防 Up to Date | 静脈血栓症／肺塞栓症部会 |
| 4. 線溶 REVISIT：古くて新しい話題 | 血栓溶解部会 |
| 5. COVID-19 と SARS-CoV-2 ワクチンによる血栓症の最新情報 | 血栓性素因部会・HIT 部会合同企画 |
| 6. 血友病に関する検査の意義と課題を見つめ直す | 血友病部会 |
| 7. VWD/TMA における新規治療薬 | VWD/TMA 部会 |
| 8. 抗リン脂質抗体症候群の診断・治療の現状と今後の展望 | 抗リン脂質抗体部会 |
| 9. 凝固線溶検査—検査室から臨床へ | 凝固線溶検査部会 |
-

コーポレートセミナー：L I V E 配信

血友病診療のこれから ～血友病性関節症の克服を目指して～

大野久美子先生
齋藤 琢先生
共催：中外製薬株式会社

共催セミナー：L I V E 配信 (一部オンデマンド配信)

- | | |
|--|---|
| 1. 血友病個別化医療のための凝固能評価 | 稲葉 浩先生
共催：CSL ベーリング株式会社 |
| 2. 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 | 橋口 照人先生
共催：株式会社キューメイ研究所 |
| 3. 血友病性関節症の発症・進行予防のためにできること | 伊藤 琢磨先生
共催：武田薬品工業株式会社 |
| 4. 血友病 PUPs 治療を最新のエビデンスから考える | 矢田 弘史先生
共催：サノフィ株式会社 |
| 5. 血友病診療の新時代における第Ⅷ因子製剤の役割
～ヌーイックの臨床試験結果を踏まえて～ | 藤井 輝久先生
共催：藤本製薬グループ 藤本製薬株式会社 |
| 6. がん関連血栓塞栓症 (CAT) の臨床と凝固分子マーカー | 森山 雅人先生
共催：積水メディカル株式会社 |
| 7. 関節エコーが明らかにする不顕性出血、関節エコー導入の A to Z | 長尾 梓先生
共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 |
| 8. 後天性血友病 診断と治療 ～当院での経験を含めて～ | 山之内 純先生
共催：一般社団法人日本血液製剤機構 /KM バイオロジクス 共同開催 |

第16回日本血栓止血学会学術標準化委員会 シンポジウム 日程表

オンデマンド配信期間
2022年2月25日(金)～3月31日(木)

2022年2月19日(土)			
	第1会場	第2会場	第3会場
9:00	9:00～ 開会の辞 橋口 照人		
9:10-10:00	共催セミナー 1 CSL ペーリング株式会社 血友病個別化医療のための凝固能評価 座長：松下 正 演者：稲葉 浩	9:10-10:00 オンデマンド 共催セミナー 2 株式会社キューメイ研究所 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症 座長：岡崎 智治 演者：橋口 照人	9:10-10:00 共催セミナー 3 武田薬品工業株式会社 血友病性関節症の発症・進行予防のためにできること 座長：野上 恵嗣 演者：伊藤 琢磨
10:10-12:10	オンデマンド DIC 部会 各領域の DIC で分かっていること・未だ分かっていないこと 座長：関 義信、山川 一馬 演者：原田 佳代、鈴木 隆晴、山田 真也、田村 利尚、望月 勝徳、和田 剛志、梅村 稜	10:10-12:10 オンデマンド 凝固系/抗凝固療法部会 自己免疫性凝固因子欠乏症、凝固波形と抗凝固関連療法の新展開 I. 凝固・抗凝固・モニター 座長：橋口 照人、涌井 昌俊 演者：一瀬 白帝、小川 孔幸、和田 英夫 II. 血栓症 座長：上塚 芳郎、川杉 和夫 演者：久志本成樹、日高 央	10:10-12:10 オンデマンド 静脈血栓症/肺塞栓症部会 静脈血栓塞栓症の治療と予防 Up to Date 座長：保田 知生、杉村 基 特別発言：山田 典一 演者：荻原 義人、山下 侑吾、志賀 太郎、向井 幹夫、家子 正裕
12:20-13:10 (50分)	オンデマンド 共催セミナー 4 サノフィ株式会社 血友病 PUPs 治療を最新のエビデンスから考える 座長：酒井 道生 演者：矢田 弘史	12:20-13:10 (50分) 共催セミナー 5 藤本製薬グループ 藤本製薬株式会社 血友病診療の新時代における第Ⅷ因子製剤の役割～ヌーイックの臨床試験結果を踏まえて～ 座長：西田 恭治 演者：藤井 輝久	12:20-13:10 (50分) 共催セミナー 6 積水メディカル株式会社 がん関連血栓塞栓症 (CAT) の臨床と凝固分子マーカー 座長：海渡 健 演者：森山 雅人
13:20-15:20	オンデマンド 血栓溶解部会 線溶 REVISIT：古くて新しい話題 座長：竹下 享典、長尾 毅彦 演者：長田 真、岩城 孝行、浦野 哲盟、蓮見 恵司	13:20-15:20 オンデマンド 血栓性素因部会・HIT 部会合同企画 COVID-19 と SARS-CoV-2 ワクチンによる血栓症の最新情報 座長：矢富 裕、根木 玲子 演者：長屋 聡美、辻 明宏、家子 正裕、藤村 吉博、高田真紀子、河野 浩之、安本 篤史	13:20-15:20 オンデマンド 血友病部会 血友病に関する検査の意義と課題を見つめ直す 座長：酒井 道生 演者：山崎 哲、鈴木 敦夫、稲葉 浩、矢田 弘史、野上 恵嗣、三宅 秀彦
15:30-17:00	オンデマンド VWD/TMA 部会 VWD/TMA における新規治療薬 座長：八木 秀男 演者：日笠 聡、宮川 義隆、松本 雅則、丸山 彰一	15:30-17:00 オンデマンド 抗リン脂質抗体部会 抗リン脂質抗体症候群の診断・治療の現状と今後の展望 座長：野島 順三、渥美 達也 演者：内藤 澄悦、金重 里沙、藤枝雄一郎、アメンガル・オルガ	15:30-17:00 オンデマンド 凝固線溶検査部会 凝固線溶検査一検査室から臨床へ 座長：山崎 昌子、藤井 聡 演者：徳永 尚樹、熊野 稜、小宮山 豊、横山 健次
17:10-18:40	コーポレートセミナー 中外製薬株式会社 血友病診療のこれから ～血友病性関節症の克服を目指して～ 座長：日笠 聡 演者：大野久美子、齋藤 琢	17:10-18:00 オンデマンド 共催セミナー 7 ノボノルディスク ファーマ株式会社 関節エコーが明らかにする不顕性出血、関節エコー導入の A to Z 座長：徳川多津子 演者：長尾 梓	17:10-18:00 共催セミナー 8 一般社団法人日本血液製剤機構 / KM バイオロジクス 共同開催 後天性血友病 診断と治療 ～当院での経験を含めて～ 座長：家子 正裕 演者：山之内 純
18:40～	閉会の辞 山崎 昌子		
19:00			

※教育講演はオンデマンド配信のみです。
配信期間：2022年2月19日(土) 13:10～3月31日(木) 正午

プログラム

教育講演

1. 領域：止血機能検査

「止血・血栓をとりまく疾患の鑑別のために知っておくべき血液凝固検査」

演者：池添隆之（福島県立医科大学血液内科学講座）

2. 領域：血小板

「COVID-19 と血栓・血小板」

演者：横山健次（東海大学医学部附属八王子病院）

3. 領域：凝固・線溶系出血疾患

「小児の凝固異常症診療における最近の進歩」

演者：野上恵嗣（奈良県立医科大学小児科）

4. 領域：凝固・線溶系血栓性疾患

「先天性血栓性素因と後天的血栓傾向」

演者：山本晃士（埼玉医科大学総合医療センター輸血細胞医療部）

5. 領域：DIC/TMA

「DIC/TMA 関連分子の遺伝子解析・検査」

演者：小亀浩市（国立循環器病研究センター）

学術標準化委員会シンポジウム

1. DIC 部会

「各領域の DIC で分かっていること・未だ分かっていないこと」

座長：関 義信（新潟大学地域医療教育センター 血液内科）
山川一馬（大阪医科薬科大学 救急医学）

1. 造血幹細胞移植後の内皮障害マーカーと核内蛋白の推移について

原田佳代¹⁾、佐藤佑紀¹⁾、福地恒一郎¹⁾、柳沼真維¹⁾、遠藤麻美子¹⁾、深津真彦¹⁾、高橋裕志¹⁾、
木村 哲¹⁾、山田晋吾²⁾、池添隆之¹⁾
(¹⁾ 福島県立医科大学 血液内科、²⁾ シノテスト (株) R & D センター免疫・遺伝子ユニット)

2. 固形がんによる DIC - 分かっていること・未だ分かっていないこと -

鈴木隆晴¹⁾、関 義信^{1,2)}
(¹⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝学分野、²⁾ 新潟大学魚沼地域医療教育センター
血液内科)

3. 大動脈瘤・血管奇形に合併した DIC の病態と治療

山田真也、朝倉英策
金沢大学附属病院 血液内科

4. DPC データから見た日本における DIC のエビデンス

田村利尚¹⁾、沢津橋佑典¹⁾、大場拓哉¹⁾、平田敬治¹⁾、岡本好司^{1,2)}
(¹⁾ 産業医科大学 消化器・内分泌外科、²⁾ 北九州市立八幡病院 外科)

5. 敗血症性 DIC に対する集学的治療を考える

望月勝徳（信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター）

6. Thromboplasminflammation として捉える COVID-19 凝固異常症

和田剛志（北海道大学大学院 医学研究院侵襲制御医学講座 救急医学教室）

7. 敗血症性 DIC のこれまでとこれから

梅村 穰（大阪急性期・総合医療センター 救急診療科）

2. 凝固系／抗凝固療法部会

「自己免疫性凝固因子欠乏症、凝固波形と抗凝固関連療法の新展開

I. 凝固・抗凝固・モニター」

座長：橋口照人（鹿児島大学大学院 医師学総合研究科 血管代謝病態解析学）

涌井昌俊（慶應義塾大学医学部 臨床検査医学教室）

1-1. 指定難病 288-5 自己免疫性第 X(10) 因子欠乏症の実態と診断基準

一瀬白帝^{1,2)}、惣宇利正善^{1,2,3)}、尾崎 司^{1,2,4)}

(¹⁾ 山形大学医学部分子病態学講座、²⁾ 厚生科研「均てん化（略称）」研究班、³⁾ 山形大学 大学院医学系研究科 公衆衛生学・衛生学講座、⁴⁾ 山形大学 大学院医学系研究科 生化学・分子生物学講座)

1-2. 当院における自己免疫性凝固因子欠乏症の診療経験

小川孔幸（群馬大学医学部附属病院 血液内科）

1-3. CWA の UPDATE 情報

和田英夫（三重県立総合医療センター）

「自己免疫性凝固因子欠乏症、凝固波形と抗凝固関連療法の新展開

II. 血栓症」

座長：上塚芳郎（内藤病院）

川杉和夫（帝京大学）

2-1. 我が国におけるワルファリンリバースのためのプロトロンビン複合体製剤導入といま

久志本成樹（東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野）

2-2. 門脈血栓症に対するアンチトロンビン製剤投与の有用性～凝固・抗凝固のインバランスも踏まえて～

日高 央（北里大学消化器内科）

3. 静脈血栓症／肺塞栓症部会

「静脈血栓塞栓症の治療と予防 Up to Date」

座長：保田知生（星ヶ丘医療センター 血管外科）

杉村 基（浜松医科大学医学部医学科 産婦人科家庭医療学講座）

特別発言：山田典一（桑名市総合医療センター 循環器内科）

1. 静脈血栓症治療と再発予防に関する診療を再考する ～ VTE 治療における DOAC の市販後調査や研究結果を受けて～
萩原義人（三重大学医学部附属病院 循環器内科）
2. 日本における静脈血栓塞栓症再発予防に関する取り組みと今後の展開
山下侑吾（京都大学医学部附属病院）
3. がん関連血栓症の治療と予防の Up to Date ～ DOAC およびその他の抗凝固薬のマネジメント～
志賀太郎（がん研有明病院 腫瘍循環器・循環器医内科）
4. 日本におけるがん関連血栓症治療に関する取り組みと今後の展開
向井幹夫（地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 成人病ドック科）
5. これから予測される新規抗凝固薬
家子正裕（岩手県立中部病院）

4. 血栓溶解部会

「線溶 REVISIT：古くて新しい話題」

座長：竹下享典（埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部）

長尾毅彦（日本医科大学多摩永山病院 脳神経内科）

1. 出血傾向をきたし、新規に同定された先天性トロンボモジュリン異常症と凝固線溶病態

長田 眞¹⁾、丸山慶子²⁾、小亀浩市²⁾、窓岩清治³⁾、山崎皓平⁴⁾、國枝尚子⁴⁾、平尾磨樹⁴⁾、
村田 満⁵⁾、池田康夫⁶⁾、塚田唯子⁴⁾、菊池隆秀⁴⁾

(¹⁾ 国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科、²⁾ 国立循環器病研究センター 分子病態部、³⁾ 東京都済生会中央病院 臨床検査医学科、⁴⁾ 東京都済生会中央病院 血液内科、⁵⁾ 慶應義塾大学医学部 臨床検査医学、
⁶⁾ 慶應義塾大学医学部 血液内科)

2. PAI-1 欠損症のスクリーニングの現状

岩城孝行¹⁾、浦野哲盟^{2,3)}、梅村和夫¹⁾

(¹⁾ 浜松医大・医学部・医学科・薬理学講座、²⁾ 浜松医大・医学部・医学科・医生理学講座、³⁾ 静岡社会健康医学大学院大学)

3. 包括的線維素溶解（線溶）活性測定法の意義と課題

浦野哲盟^{1,2)}、佐野秀人¹⁾、本蔵直樹¹⁾、鈴木優子¹⁾

(¹⁾ 浜松医科大学 医生理学、²⁾ 静岡社会健康医学大学院大学)

4. 血栓溶解と抗炎症作用を併せ持つ小分子 SMTP の発見と脳梗塞治療薬開発

蓮見恵司（東京農工大学 大学院 農学研究院 応用生命化学部門、株式会社ティムス）

5. 血栓性素因部会・HIT 部会合同企画

「COVID-19 と SARS-CoV-2 ワクチンによる血栓症の最新情報」

座長 (HIT 部会)：矢富 裕 (東京大学大学院医学系研究科 臨床病態検査医学)

(血栓性素因部会)：根木 玲子 (国立循環器病研究センター ゲノム医療支援部 遺伝相談室、産婦人科部)

1. COVID-19 関連凝固異常

長屋聡美¹⁾、木村英晴²⁾、堀内久徳³⁾、浦野哲盟⁴⁾、森下英理子¹⁾

(¹⁾ 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科保健学専攻 病態検査学講座、²⁾ 金沢大学附属病院 呼吸器内科、

³⁾ 東北大学加齢医学研究所 基礎加齢研究分野、⁴⁾ 静岡社会健康医学大学院大学)

2. 若年性脳梗塞を発症した COVID-19 患者の検討

辻 明宏¹⁾、浅野遼太郎²⁾、片迫 彩¹⁾、加島裕美¹⁾、塩澤真之³⁾、天野雅史⁴⁾、上田 仁¹⁾、
青木竜男¹⁾、大郷 剛^{1,2)}

(¹⁾ 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 肺循環科、²⁾ 国立循環器病研究センター 肺高血圧症先端医学研究部、³⁾ 国立循環器病研究センター 脳血管内科、⁴⁾ 国立循環器病研究センター 心臓血管内科部門 心不全科)

3. COVID-19 と抗リン脂質抗体症候群

家子正裕 (岩手県立中部病院)

4. COVID-19: 血栓素因としての補体活性化と VWF

藤村吉博 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

5. COVID-19 患者におけるヘパリン起因性血小板減少症

高田真紀子 (東京都立多摩総合医療センター麻酔科)

6. SARS-CoV-2 ワクチンと血小板減少症を伴う血栓症、脳静脈血栓症

河野浩之 (杏林大学医学部脳卒中医学)

7. SARS-CoV-2 ワクチン後に産生される抗血小板第 4 因子抗体の解析

安本篤史 (北海道大学病院)

6. 血友病部会

「血友病に関する検査の意義と課題を見つめ直す」

座長：酒井道生（宗像水光会総合病院 小児科）

1. 軽症血友病患者を見逃さないために、APTT 解釈の注意点を見直す

山崎 哲¹⁾、鈴木典子¹⁾、瀧 正志²⁾

(¹⁾ 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部、²⁾ 聖マリアンナ医科大学 小児科)

2. 各種凝固因子製剤に対する適切な凝固因子活性測定法の選択

鈴木敦夫（名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門）

3. 血友病遺伝子検査の歩みと現在

稲葉 浩（東京医科大学臨床検査医学分野）

4. 実臨床における遺伝子検査の意義

矢田弘史^{1,2)}、野上恵嗣²⁾

(¹⁾ 国立病院機構大阪医療センター 血友病科、²⁾ 奈良県立医科大学 小児科)

5. 遺伝医療における課題と遺伝カウンセリング

三宅秀彦（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコース / 領域）

7. VWD/TMA 部会

「VWD/TMA における新規治療薬」

座長：八木秀男（奈良県総合医療センター血液腫瘍内科）

1. ボンベンディ

日笠 聡（兵庫医科大学血液内科）

2. 後天性血栓性血小板減少性紫斑病に対するリツキシマブ

宮川義隆（埼玉医科大学病院 総合診療内科（血液））

3. カプラシズマブの有効性と安全性

松本雅則（奈良県立医科大学 輸血部）

4. 非典型溶血性尿毒症症候群 (aHUS) に対する新規治療薬ラブリズマブ

丸山彰一、立俣良崇、加藤規利
（名古屋大学）

8. 抗リン脂質抗体部会

「抗リン脂質抗体症候群の診断・治療の現状と今後の展望」

第1部

座長：野島順三（山口大学大学院医学系研究科・生体情報検査学）

1-1. ループスアンチコアグラント（LA）測定およびその標準化の問題点と今後の予定

内藤澄悦¹⁾、山崎 哲²⁾、家子正裕³⁾

(¹⁾ 北海道医療大学病院 臨床検査部、²⁾ 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部、³⁾ 岩手県立中部病院 血液内科／臨床検査科)

1-2. 抗リン脂質抗体測定法のカットオフ値の設定と臨床的有用性の検証

金重里沙¹⁾、本木由香里¹⁾、吉田美香²⁾、奥 健志³⁾、森下英理子⁴⁾、家子正裕⁵⁾

(¹⁾ 山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学、²⁾ 北海道医療大学病院 臨床検査部、³⁾ 北里大学病院 膠原病・感染内科、⁴⁾ 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 病態検査学、⁵⁾ 岩手県立中部病院 診療部 臨床検査科)

第2部

座長：渥美達也（北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）

2-1. 抗リン脂質抗体症候群患者における新型コロナワクチン投与後の抗リン脂質抗体価の変動に関する検討

藤枝雄一郎¹⁾、安田充孝¹⁾、奥 健志²⁾、Amengual Olga¹⁾、渥美達也¹⁾

(¹⁾ 北海道大学大学院医学研究院・医学院 免疫・代謝内科学教室、²⁾ 北里大学医学部膠原病・感染内科学)

2-2. Antiphospholipid Syndrome International Research Collaboration

アメングアル・オルガ (Department of Rheumatology, Endocrinology and Nephrology, Faculty of Medicine and Graduate School of Medicine, Hokkaido University, Sapporo, Japan.)

9. 凝固線溶検査部会

「凝固線溶検査－検査室から臨床へ」

座長：山崎昌子（千葉大学大学院医学研究院人工知能（AI）医学）

藤井 聡（旭川医科大学臨床検査医学講座）

1. 凝固波形解析の進歩 ～検査室から迫る病態へのアプローチ～

徳永尚樹（社会医療法人川島会 川島病院 検査室）

2. DOACs 投与患者検体における新規希釈 PT 試薬の有用性検討

熊野 穰^{1,2,5}、家子正裕^{3,4,5}

⁽¹⁾ Research & Development Division, HYPHEN BioMed、⁽²⁾ シスメックス株式会社、⁽³⁾ 岩手県立中部病院、

⁽⁴⁾ 北海道医療大学 歯学部 内科学講座、⁽⁵⁾ 直接（新規）経口抗凝固薬の効果確認方法に関する研究会）

3. 外注検査のピットフォール

小宮山豊¹、松田将門²

⁽¹⁾ 北陸大学 医療保健学部、⁽²⁾ 新潟大学医歯学総合病院 検査部）

4. Thrombosis in myeloproliferative neoplasms

横山健次（東海大学医学部付属八王子病院）

共催セミナー

(9:10~10:00)

1. 「血友病個別化医療のための凝固能評価」

座長：松下 正（名古屋大学医学部附属病院 輸血部）
演者：稲葉 浩（東京医科大学臨床検査医学分野）
共催：CSL ベーリング株式会社

(9:10 ~ 10:00)

2. 「自己免疫性後天性凝固因子欠乏症」

座長：岡崎智治（医療法人 三州会 大勝病院）
演者：橋口照人（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学）
共催：株式会社キューメイ研究所

(9:10 ~ 10:00)

3. 「血友病性関節症の発症・進行予防のためにできること」

座長：野上恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）
演者：伊藤琢磨（産業医科大学病院 小児科）
共催：武田薬品工業株式会社

(12:20 ~ 13:10)

4. 「血友病 PUPs 治療を最新のエビデンスから考える」

座長：酒井道生（宗像水光会総合病院 小児科）
演者：矢田弘史（国立病院機構大阪医療センター）
共催：サノフィ株式会社

(12:20 ~ 13:10)

5. 「血友病診療の新時代における第Ⅷ因子製剤の役割 ～ヌーイックの臨床試験結果を踏まえて～」

座長：西田恭治（国立病院機構大阪医療センター 血友病科/感染症内科）
演者：藤井輝久（広島大学病院 輸血部/血友病診療センター）
共催：藤本製薬グループ 藤本製薬株式会社

(12:20 ~ 13:10)

6. 「がん関連血栓塞栓症（CAT）の臨床と凝固分子マーカー」

座長：海渡 健（東京慈恵会医科大学附属病院 中央検査部）
演者：森山雅人（新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腫瘍内科学分野）
共催：積水メディカル株式会社

(17:10 ~ 18:00)

7. 「関節エコーが明らかにする不顕性出血、関節エコー導入の A to Z」

座長：徳川多津子（兵庫医科大学病院 血液内科）
演者：長尾 梓（荻窪病院 血液凝固科）
共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

(17:10～18:00)

8. 「後天性血友病 診断と治療 ～当院での経験を含めて～」

座長：家子正裕（岩手県立中部病院 臨床検査科・血液内科）

演者：山之内純（愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

共催：一般社団法人日本血液製剤機構 /KM バイオロジクス 共同開催

コーポレートセミナー

(17:10~18:40)

「血友病診療のこれから ～血友病性関節症の克服を目指して～」

座長：日笠 聡（兵庫医科大学 呼吸器・血液内科学）

共催：中外製薬株式会社

1. 「血友病診療に残された課題 ～血友病性関節症の今とこれからの整理～」
大野久美子（東京大学医科学研究所附属病院 関節外科）
2. 「血友病診療に残された課題 ～血友病性関節症の病態解明への挑戦～」
齋藤 琢（東京大学大学院医学系研究科 感覚・運動機能医学講座 整形外科学）